

2面	7・28高浜現地闘争 関西電力への申し入れ
3面	11月23日に沖縄県民大会
4面	朝鮮戦争休戦協定70周年集会
5面	狭山事件の再審を実現する大運動
6面	長期連載 先人たちの闘いに学びかそう
7面	仲尾宏さんを偲ぶ
8面	本の紹介「猪俣津南雄 戦略的思考の復権」

未来

反帝国主義・反スターリン主義 万国の労働者と被抑圧民族は団結せよ!

●発行所 前進社関西支社
〒532-0002
大阪市淀川区東三国6-23-16
(振替 00970-9-151298)

●第1・3木曜日発行
●200円(本体182円)
●定期購読 購読料(送料別)
1月 400円(送料188円)
半年 2400円(送料1,128円)
1年 4800円(送料2,256円)

革命的共産主義者同盟再建協議会 <http://miraikakukyodo.jp/>

核と人類は共存できない 9・1 関電本店前断食行動へ



関電高浜原発北ゲート前で訴える中島哲演さん
(7月28日 福井県高浜町)

岸田政権による原発稼働するという関電の推進、原発依存社会への暴走を許してはならない。脱炭素を口実に闇雲な攻撃をかけてきている。その旗頭を担っているのが、関西電力である。

再稼働の急先鋒 関電

関西電力は7月28日に、日本最古の老朽原発高浜1号機を再稼働した。運転開始以来48年を超えてなおかつ再稼働の急先鋒として、それが老朽原発を無理に稼働しようとするためにトラブル、不祥事が必然に発生しているのである。

8・6ヒロシマと平和のタベ 今、ヒロシマの継承と連帯

8月6日、広島では78年がたち、被爆体験者はずいぶん少なくなっている。米澤鐵志(被爆教師の会)が被爆証言。若い世代の横山菜史さん(大学生)が次世代に引き継ぐ取り組み。2部で森下さんは、旧制中学校3年生のとき、爆心から1.5kmくらい離れた所で被爆した。この日、森下さんが避難体験を語った。最後に、④平尾に動員されていた。被災した。ヒロシマから 集会は2部構成で、直政さん(ジャーナリ

句(9・15か)に、同じく老朽原発の高浜2号機をも再稼働しようとしている。

また関電は中国電力と結託し、山口県上関町へ使用済核燃料の中間貯蔵施設を作ろうとしていることが発覚している。

9月1日、「老朽原発うごかすな!」とめよう! 原発依存社会への暴走を掲げて、大阪の関電本店前で10時~16時の間、関電前「一食断食」行動が呼びかけられている。

「一食断食」とは、福井県小浜市にある明通寺住職の中島哲演さんが呼びかけたもので、「一食断食」する暴走が堰を切ったように、関電に押し進められておき、何よりも関電が先手として、大手電力事業者として、一線を越えて原発推進に突っ走っているからだ。

今年の9月1日は関東大震災から百年目にあたる。いままも全国で地震が頻発している。地震大国日本で原発は認められない。

この断食行動は、9月1日から9月16日まで、歌などがある。汚染水海洋投棄許さず、9・1から9月中旬の高浜2号機再稼働阻止行動へ。今秋のすべての闘いの力で12・3「1万人集会」を成功させよう。

最老朽原発高浜1号機 12年半ぶりの再稼働弾劾

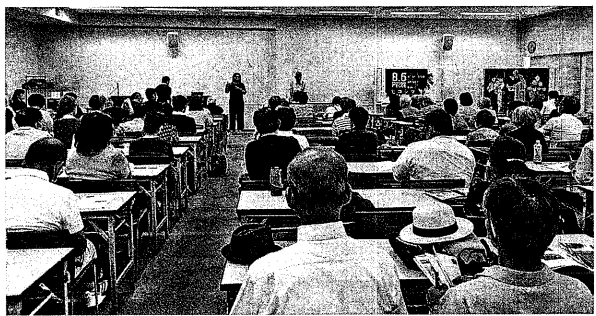
7月28日

7月28日午後3時、関西電力は高浜1号機を再稼働した。これは対して、老朽原発うごかすな! 実行委員会が、地元福井県小浜市の住職・中島哲演さんを先頭に、関西各地からバスなどで駆け付け、100人が、火災防護対策の追加工事が必要となり、7月にずれ込んでいた。高浜原発1号機は、福島第一原発事故で、国が原発の運転期間を「原則40年」と定め、延長する

7月28日午後3時、関西電力は高浜1号機を再稼働した。これは対して、老朽原発うごかすな! 実行委員会が、地元福井県小浜市の住職・中島哲演さんを先頭に、関西各地からバスなどで駆け付け、100人が、火災防護対策の追加工事が必要となり、7月にずれ込んでいた。高浜原発1号機は、福島第一原発事故で、国が原発の運転期間を「原則40年」と定め、延長する

汚染水海洋投棄許さず

(2面に申し入れ書)



200人の参加で会場いっぱいになった「平和の夕べ」(8月6日 広島市内)

「2004年にウクライナを訪問した時、市立基町高校では、被爆者から証言を聞きとる。横山さんは大学生。横山さんは広島に「次世代に伝える広島」の過去と未来」というテーマで講演した。横山さんが卒業した広島市立基町高校では、被爆者から証言を聞きとる。横山さんは大学生。横山さんは広島に「次世代に伝える広島」の過去と未来」というテーマで講演した。横山さんが卒業した広島市立基町高校では、被爆者から証言を聞きとる。横山さんは大学生。横山さんは広島に「次世代に伝える広島」の過去と未来」というテーマで講演した。

②横山菜央さんの取り組み

横山さんは大学生。横山さんは広島に「次世代に伝える広島」の過去と未来」というテーマで講演した。横山さんが卒業した広島市立基町高校では、被爆者から証言を聞きとる。横山さんは大学生。横山さんは広島に「次世代に伝える広島」の過去と未来」というテーマで講演した。

③鴨下美和さんの証言

福島第一原発事故の時、鴨下さんは福島県いわき市に住んでいました。鴨下さんは区域外で胎内被爆し、知的な身体障害をもつて生まれた。胎内で、脳が形成される時に被爆した。この時点で「被爆2世」とは異なる。1946年に、原爆傷害調査委員会(ABC)が調査を始め、その存在はすでにわかっていた。原爆小頭症は、ABCによって「原爆によるものではない。栄養失調によるもの」とされた。こうして、原爆被爆者が受けた「人間的悲惨さ」は、隠されつづけたのだ。1965年、『この世界の片隅で』(岩波新書)が出版されて、子どもたちの存在が明らかになった。その年、当事者たちの親子でつくる「きのこ会」が生れた。私たちは、ここに「キノコのように、たくましく、強く生きてほしい」という

④平尾直政さんの講演

平尾さんは「私たちの声を聴いてください。私は小倉桂子さんから被爆体験を聞き、一ヶ月の8月頭症被爆者とその家族について取材をつまか描いた。原爆は怖い」というイメージで、避けてきた。原爆を体験していない若い世代が、その体験を次世代に伝えていくことの大切さを強調した。

7・28高浜現地闘争

関西電力への申し入れ

関西電力株式会社... ね、原子力の憲法・原再稼働させるとして準備を進めていた。水田 仁様、高浜発電所長 木島 和夫様 申し入れ書

核(原爆と原発)廃絶を

講演者の発言はそれだけ感動的だった。原爆と原発においても、被爆者は偏見と差別にさらされ、「生きる」というものが「核(原爆と原発)廃絶を」

(1面からの続き) 爆の瞬間は「8月6日、8時15分。この日は、朝からキラキラと太陽が輝いていた。約70人の生徒が整列した直後、原爆がさく裂した。その瞬間、巨大な熔鉱炉のなかになげ込まれたような感じだった。その後どうしたのか、まったく覚えていない。気がついたら、川のなかに入っていた。」

その後、森下さんは高校教師になった。一時、原爆について発言をやめていたが被爆教師として逃げてはいけないと思いついた。体験を語り、「平和(原爆)教育」の実践をはじめた。世界中をまわって、森下さんは「次世代に伝える広島」の過去と未来」というテーマで講演した。

「2004年にウクライナを訪問した時、市立基町高校では、被爆者から証言を聞きとる。横山さんは大学生。横山さんは広島に「次世代に伝える広島」の過去と未来」というテーマで講演した。

福島第一原発事故の時、鴨下さんは福島県いわき市に住んでいました。鴨下さんは区域外で胎内被爆し、知的な身体障害をもつて生まれた。胎内で、脳が形成される時に被爆した。この時点で「被爆2世」とは異なる。

講演者の発言はそれだけ感動的だった。原爆と原発においても、被爆者は偏見と差別にさらされ、「生きる」というものが「核(原爆と原発)廃絶を」

原発は、現在科学技術で制御できる装置でないことを、発生後12年を経た福島原発事故が、大きな犠牲の上に教えています。その原発が老朽化すれば、危険度が急増するところは多くが指摘するところ

原発は、現在科学技術で制御できる装置でないことを、発生後12年を経た福島原発事故が、大きな犠牲の上に教えています。その原発が老朽化すれば、危険度が急増するところは多くが指摘するところ

原発は、現在科学技術で制御できる装置でないことを、発生後12年を経た福島原発事故が、大きな犠牲の上に教えています。その原発が老朽化すれば、危険度が急増するところは多くが指摘するところ

原発は、現在科学技術で制御できる装置でないことを、発生後12年を経た福島原発事故が、大きな犠牲の上に教えています。その原発が老朽化すれば、危険度が急増するところは多くが指摘するところ

原発は、現在科学技術で制御できる装置でないことを、発生後12年を経た福島原発事故が、大きな犠牲の上に教えています。その原発が老朽化すれば、危険度が急増するところは多くが指摘するところ

原発は、現在科学技術で制御できる装置でないことを、発生後12年を経た福島原発事故が、大きな犠牲の上に教えています。その原発が老朽化すれば、危険度が急増するところは多くが指摘するところ

原発は、現在科学技術で制御できる装置でないことを、発生後12年を経た福島原発事故が、大きな犠牲の上に教えています。その原発が老朽化すれば、危険度が急増するところは多くが指摘するところ

原発は、現在科学技術で制御できる装置でないことを、発生後12年を経た福島原発事故が、大きな犠牲の上に教えています。その原発が老朽化すれば、危険度が急増するところは多くが指摘するところ

原発は、現在科学技術で制御できる装置でないことを、発生後12年を経た福島原発事故が、大きな犠牲の上に教えています。その原発が老朽化すれば、危険度が急増するところは多くが指摘するところ

原発は、現在科学技術で制御できる装置でないことを、発生後12年を経た福島原発事故が、大きな犠牲の上に教えています。その原発が老朽化すれば、危険度が急増するところは多くが指摘するところ

原発は、現在科学技術で制御できる装置でないことを、発生後12年を経た福島原発事故が、大きな犠牲の上に教えています。その原発が老朽化すれば、危険度が急増するところは多くが指摘するところ

原発は、現在科学技術で制御できる装置でないことを、発生後12年を経た福島原発事故が、大きな犠牲の上に教えています。その原発が老朽化すれば、危険度が急増するところは多くが指摘するところ

原発は、現在科学技術で制御できる装置でないことを、発生後12年を経た福島原発事故が、大きな犠牲の上に教えています。その原発が老朽化すれば、危険度が急増するところは多くが指摘するところ

原発は、現在科学技術で制御できる装置でないことを、発生後12年を経た福島原発事故が、大きな犠牲の上に教えています。その原発が老朽化すれば、危険度が急増するところは多くが指摘するところ

原発は、現在科学技術で制御できる装置でないことを、発生後12年を経た福島原発事故が、大きな犠牲の上に教えています。その原発が老朽化すれば、危険度が急増するところは多くが指摘するところ

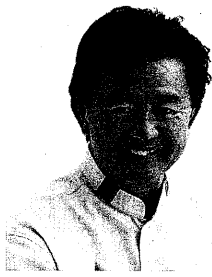
原発は、現在科学技術で制御できる装置でないことを、発生後12年を経た福島原発事故が、大きな犠牲の上に教えています。その原発が老朽化すれば、危険度が急増するところは多くが指摘するところ

原発は、現在科学技術で制御できる装置でないことを、発生後12年を経た福島原発事故が、大きな犠牲の上に教えています。その原発が老朽化すれば、危険度が急増するところは多くが指摘するところ

戦争と増税に反対

伊波洋一さんが講演

7月30日 奈良



アメリカは、自国のために中国の経済成長に歯止めをかけた。そのために、日本を戦場にしようとして、中国とアメリカは、戦争をしても勝てないことを知っている。アメリカは戦争をするメトリカは戦争をするメットがないのだ。だから、アメリカは「中国とは闘わない」と言っている。その代わり、同盟国の日本を闘わせようとしている。自民党の議員たちは「日本が攻められたら、アメリカが助けてくれる」と考えている。新ガイドラインからもわかるように、アメリカは日本を守らない。日本が攻撃されたら、アメリカ軍は逃げている。このことをしっかりと認識してもらいたい。

日本列島が戦場に

相手が攻撃に驚愕して、何もしないのか。こんなことはありえない。日本がミサイルで敵基地を攻撃すれば、かならず報復される。日本からみれば「抑止」であっても、相手からすれば侵略になるから

沖繩の闘い

岸田政権は国会にもはからず、人々の声にも耳を傾けない。「選挙によって選ばれたのだから、自分が決める」といっている。こんな必要がある。

7月30日(沖繩を再び戦場にするな)と岸田政権の安保3文書改定の軍拡がもたらすものというテーマで講演した。また、崎奈良一沖繩連帯委員会、多文化共生フォーラム奈良、沖繩の高江・辺野古につながる奈良の会。約50団体が賛同している。

集会では、伊波洋一さん(参議院議員・沖繩の風)が「安倍政権

の南西諸島の軍備強化 昨年12月、岸田文雄政権は「安保3文書」の改定を閣議決定した。これによって、日本の「安保防衛政策」は新たなステージに入った。この文書は、日本が周辺諸国にたいして、いづれでもミサイルを撃つ状態にしておこうとする内容。岸田は「中国が攻めてくる」ことを口実にしているが、ほんとうは違う。人びとの生活をないがしろ

にして、岸田はほんの一部分の人間の声を聞いて、戦争をすることを決断した。今まで、憲法9条のもとで、われわれは他国に戦争をしないことを誓ってきた。この日本が、ふたたび侵略戦争を決断した。われわれはこんなことを許しておく事はできない。

アメリカの意図 アメリカは、中国と戦争をしても勝てないことを知っている。アメリカは戦争をするメトリカは戦争をするメットがないのだ。だから、アメリカは「中国とは闘わない」と言っている。その代わり、同盟国の日本を闘わせようとしている。自民党の議員たちは「日本が攻められたら、アメリカが助けてくれる」と考えている。新

今、日本政府は南西諸島に自衛隊基地をつくらせている。それはこの島から敵基地にミサイルを撃つためではない。この基地は、敵を沖繩県民は、このことを許してはならない。わたしたちは岸田政権の意図を見抜き、この状況を変えていかなければならない。

沖繩県民は、このことを肌で感じている。11月23日に、県民大会を開催する。軍拡をおこない、ミサイルをつくっても、人々の生活はけっして豊かにならない。人びとは経済的豊かさを得たいのだ。戦争ではなく、平和に生きることが望んでいる。これを實現するために、われわれは岸田政権と闘う必要がある。

【2】原発を動かせば、行き場がなく、子々孫々にまで負の遺産となる使用済み核燃料が増加します。貴閣が電力会社が、事故の教訓を生かさず、原発維持にこだわり、自然エネルギーへの全面切り替えを怠った結果です。日本は、太陽光にも、水にも、風にも、地熱にも恵まれていますが、先見の明がある政府や電力会社であったなら、原発に費やされた膨大な税金や電気料金を、自然エネルギーを利用する電源、大容量の蓄電法、省エネ機器の開発と普及に回し、今頃、核燃料、化石燃料など必要のない社会を実現し、世界をリードしていたでしょう。

【3】一刻も早く原発と決別し、核燃料、化石燃料を使わない発電に転換してください。公益事業体として、環境の保全と人類の明るい未来のために、自然エネルギーによる発電法、大容量蓄電法、省エネ技術の開発と普及に努めてください。

【1】危険極まりない老朽原発・美浜3号機の運転を中止し、老朽原発・高浜1、2号機の再稼働、高浜原発3、4号機の40年超え運転を断念し、これら

11月23日に県民大会

うち続く自衛隊配備

アメリカの意図

日本列島が戦場に

沖繩の闘い

危険極まりない老朽原発

「安保3文書」とは何か

「安保3文書」とは何か

7月3日 陸上自衛隊「有事」がこの10年間で着々と進められていく。第15旅団(那覇)に拠点)が陣地構築を想定して琉球石灰岩の掘削をする訓練を2014年から実施していることが分かった。訓練の根拠は、対中国を念頭に2013年末に閣議決定した防衛大綱の「南西地域の防衛体制の強化」にある。先に判明した福岡の第5施設団も琉球石灰岩の爆破訓練を実施しており、南西諸島の

太平洋に位置し、人口約5500人。これまで自衛隊の基地はなく、2021年12月に人工衛星発射に備え、石垣市で展開しているPAC3の配備を8月31日まで延長すると決定した。石垣市はPAC3を当初新港地区に展開していたが、クルーズ船の入港などの理由により、人工島「町民に説明のない訓練はしないように」と抗議の声を上げた。

11日 防衛省は朝鮮民主主義人民共和国の人工衛星発射に備え、石垣市で展開しているPAC3の配備を8月31日まで延長すると決定した。石垣市はPAC3を当初新港地区に展開していたが、クルーズ船の入港などの理由により、人工島「町民に説明のない訓練はしないように」と抗議の声を上げた。

15日 久米島町の航空自衛隊久米島分屯基地にオスプレイが飛来した。久米島への飛来は初めて。オスプレイは在沖米海兵隊の訓練を募る開札を実施した。20日 名護市辺野古の新基地建設で沖繩防衛局は、大浦湾側の埋め立てに使う土砂を「仮置き」する計画を巡り、土木工事の業者を募る開札を実施した。

27日 戦争に反対する全県組織「沖繩を再び戦場にさせない県民の会」が発足した。これまで準備委員会を立ち上げ、2月に那覇市

内、5月に北谷町内で集会を開き、準備してきた。75団体、個人が賛同。共同代表に具志堅隆松さん、前南城市長の瑞慶覧長敏さんが就任。11月23日に那覇市の奥武山公園で1万人以上参加の県民大会を開催をめざす。

【1】危険極まりない老朽原発・美浜3号機の運転を中止し、老朽原発・高浜1、2号機の再稼働、高浜原発3、4号機の40年超え運転を断念し、これら

【2】原発を動かせば、行き場がなく、子々孫々にまで負の遺産となる使用済み核燃料が増加します。貴閣が電力会社が、事故の教訓を生かさず、原発維持にこだわり、自然エネルギーへの全面切り替えを怠った結果です。日本は、太陽光にも、水にも、風にも、地熱にも恵まれていますが、先見の明がある政府や電力会社であったなら、原発に費やされた膨大な税金や電気料金を、自然エネルギーを利用する電源、大容量の蓄電法、省エネ機器の開発と普及に回し、今頃、核燃料、化石燃料など必要のない社会を実現し、世界をリードしていたでしょう。

【3】一刻も早く原発と決別し、核燃料、化石燃料を使わない発電に転換してください。公益事業体として、環境の保全と人類の明るい未来のために、自然エネルギーによる発電法、大容量蓄電法、省エネ技術の開発と普及に努めてください。



2018年の県民大会(「未来」252号から)

狭山事件の再審を実現する大運動 23年秋の運動が勝負

7月17日 大阪



130人の仲間が集った(7月17日 大阪市内)

昨年狭山第3次再審請求に心を寄せる人々が大反響を呼び起こした「意見広告」運動。これをひきついで、狭山事件の再審を実現する大運動の呼びかけによる集会在7月17日、大阪市内で開催されました。石川さんの顔写真が大きく描き出された3メートル×6メートルの大横断幕は、参加した人々に一目で狭山再審を勝ち取るぞという熱気を感じさせていました。

この集会は、3月に「袴田事件の再審」という胸のすくような勝利をかちとりながら、①大崎事件第4次再審請求書や袴田事件再審開始に向けた検察の「有罪立証方針」の悪あがき、②東京高裁狭山担当大野裁判長の退官が本年12月に迫っているにもかかわらず、いまだに弁護団が昨年8月に提出した11人の鑑定尋問と裁判所によるインク鑑定の実施の気配さえ伝わってこない。このような切迫した情勢の中で、「次は狭山！」をどうしたら勝ち取ることが出来るのかという強い危機感を呼びかけられました。

この危機感は、運動の内部から「裁判長を刺激しないようにしよう」「運動は弁護団の後押し」「無方針が方針」などの声が伝わってくる中で、このままズルズルと検察の「証拠調べの必要なし」という居直りと大野裁判長が証拠調べもしない無責任に退官することを許してよいのか、という思いに突きまします。

この「無方針」をのりこえ、一人一人が創意工夫した大運動で、なんとしても今秋第3次再審請求で再審を実現し石川さんの無実無罪を勝ちとろう！との切



川田龍平参院議員を講師に種子法などを学習(7月8日 川西市)

毎年阪神間でおこなわれている市民の力で社会を変えよう連続市民講座は今年で10期目になる。この講座は元尼崎市議の小柳久嗣さんを代表に阪神間の十数人の県議・市議や市民運動家が超党派の実行委員会をつくり、先進的な市民運動や研究者の実践を学ぶ講座として地道に続けて来た。今年前半は昨年末予定の講座が、講師が病気になる中止となり、そのため、その時や残り循環的に農と食を支えるローカル自給圏が必要。一つの核は学校給食の地域公共調達で、農家と住民一体化で耕作放棄地は皆で分担して耕すことだ。命を縮める輸入品は国産より高い。消費者も流通加工も今すぐ国産に、輸入途絶と消費者の意向から有機自然栽培の方向性を視野に入れる必要がある。お金の時代は終焉した。不測の事態に国民の命を守るのが国防なら、地域農業を守るこそが安全保障。防衛費5年で43兆円の一方で、農業が削減したら、兵糧攻めで日本人の餓死は現実的に。トマホーク

川田龍平参院議員が訴え

第二回目は7月8日川西市の会場で、参議院議員の川田龍平さんによる「日本農業の再生をめざすローカルフード法の制定運動について」の講演でした。川田さんは主に種子のことを話し「日本食の要、大豆の種子も99%は輸入です」と言われ、川西特産のいちじくなどにもふれながら歴代自民党政権の、日本農業破壊を弾劾しました。

3回の講座を聞いて、農業にはあまり関心なかった私も危機感を持ちました。毎日普通に食べられる有難いものを続けるのが、どんなに困難なのか。私たち庶民はつい安い「学校給食の完全無償化と有機農業への転換をめざして」という講演でした。正橋さんは、まずローカル自然派について、「店舗をもたない宅配のみを生協。安心安全な食を求めて1970年代に主婦が立ち上げた共同購入会が始まり、現在では近畿5県4国4県で事業連合を形成し、全体で組合員20万人、兵庫で5万人となった」と説明。今までの活動として、明石市幼小中学校の無添加を目指す請願

農業問題で3回連続の市民講座 資本主義の危機と農業・食糧問題

- 書の採択、一昨日神戸市議会のつなぐ会派で担当者懇談し、また前回神戸市議選候補者に学校給食アンケート実施、などをした。
- また、オーガニックは決して特別なものではない。今の農業化学肥料を多用する慣行栽培は戦後に確立された。それより以前はオーガニックが当たり前であって、戦争中に兵器や毒ガスを作っていた企業が農業分野に進出し、今に至っている危険性を訴えました。
- もう限界だ！人を増やせ！賃金上げろ！みんなの集会2023
- とき：8月26日(土) 午後2時
ところ：PLP会館4階(大阪府北区)
主催：介護・福祉総がかり行動 ショーン実行委員会
- 関東大震災から100年、現代の課題を考える
- とき：8月26日(土) 午後2時～4時半
ところ：奈良県天理市民会館
主催：関東大震災から100年を考える実行委員会
- 関東大震災朝鮮人・中国人虐殺100年 犠牲者追悼大会
- とき：8月31日(木) 午後6時15分
ところ：文京シビックホール(大ホール)
主催：関東大震災朝鮮人・中国人虐殺100年犠牲者追悼大会実行委員会
- 関電前「食断食」行動
- とめよう！原発依存社会への暴走
- とき：9月1日(金) 午前10時～午後4時
ところ：関西電力本店前(大阪府北区中之島)
主催：老朽原発うごかすな！実行委員会
- 農地を奪うな農地を返せ9・3三里塚支援集会
- とき：9月3日(日) 午後2時～4時半
ところ：エルおおさからF視聴覚室(大阪府中央区)
主催：三里塚関西実行委員会
- 25年「夢洲・万博」を考える討論集会
- とき：9月7日(木) 午後6時半
ところ：国労大阪会館3階大会議室
主催：どないする大阪の未来ネット NPO労働と人権サポートセンター・大阪

長期・読み切り連載

大庭伸介

先人たちの闘いの成功と失敗を学び現在に生かそう

全国で米よこせ運動

「満洲事変」下で左翼が柔軟対応

失業者と主婦が井戸端から総決起 農林省を譲歩させ「生きる糧」獲得

1932年6月6日、東京・三河島のラム街の失業者と主婦たち400人が叫んだ。「米よこせ！」の一声から大闘争が始まった。

このころになると農村には地主の倉のほかに米がないので値上がりを呼んで、剣もほろろに追い払った。しかし、農民は食うために引き下がっていられた。この程度では焼け石に水にすぎなかった。

代表者が提出した「請願趣意書」の内容は、①政府所有米の海外売却は停止された。②外米・朝鮮米・台湾米の輸入制限を厳しくし、次第に姿勢を改め後を追うように乗っかってきた。

この日の座り込みは「東京日日」をはじめ全国紙すべてが報じた。このころは、労働者・農民・無産市民の組織化と成長もすすんでいた。しかし当事者も認めるとおり参加者は予定より少なかった。にもかかわらず当局が譲歩したのには、前述したように、戦争前後に首都をはじめ全国各地で米騒動が再発することへの恐れからである。

7月、新米を買い上げた産業者も、そのなかにかつての農民の要求に押され、農林省は米を貯蔵し、東京のラム街の失業者と主婦たち400人が叫んだ。「米よこせ！」の一声から大闘争が始まった。

1932年6月6日、東京・三河島のラム街の失業者と主婦たち400人が叫んだ。「米よこせ！」の一声から大闘争が始まった。このころになると農村には地主の倉のほかに米がないので値上がりを呼んで、剣もほろろに追い払った。しかし、農民は食うために引き下がっていられた。この程度では焼け石に水にすぎなかった。

代表者が提出した「請願趣意書」の内容は、①政府所有米の海外売却は停止された。②外米・朝鮮米・台湾米の輸入制限を厳しくし、次第に姿勢を改め後を追うように乗っかってきた。

この日の座り込みは「東京日日」をはじめ全国紙すべてが報じた。このころは、労働者・農民・無産市民の組織化と成長もすすんでいた。しかし当事者も認めるとおり参加者は予定より少なかった。にもかかわらず当局が譲歩したのには、前述したように、戦争前後に首都をはじめ全国各地で米騒動が再発することへの恐れからである。

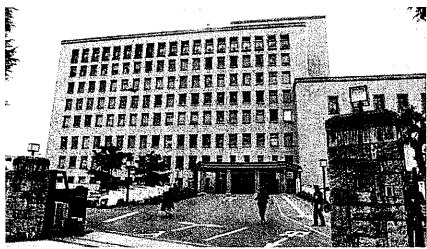
7月、新米を買い上げた産業者も、そのなかにかつての農民の要求に押され、農林省は米を貯蔵し、東京のラム街の失業者と主婦たち400人が叫んだ。「米よこせ！」の一声から大闘争が始まった。

この日の座り込みは「東京日日」をはじめ全国紙すべてが報じた。このころは、労働者・農民・無産市民の組織化と成長もすすんでいた。しかし当事者も認めるとおり参加者は予定より少なかった。にもかかわらず当局が譲歩したのには、前述したように、戦争前後に首都をはじめ全国各地で米騒動が再発することへの恐れからである。



「昭和米よこせ運動の記録」山本秋著

7月、新米を買い上げた産業者も、そのなかにかつての農民の要求に押され、農林省は米を貯蔵し、東京のラム街の失業者と主婦たち400人が叫んだ。「米よこせ！」の一声から大闘争が始まった。



国賠請求を棄却した仙台高等裁判所

この大反動に対し、広範な民衆の力にどこ私たちがまた、原点にまでも徹底的に依拠し立ちかえって闘いを開いて広大な支援の輪をつ始しなくてはならない。くり出してゆくことで4年前の仙台地裁判決の敗訴に際し、新里弁護団長が語った言葉が想起される。「このな決意で立ち上がって闘いに勝利する王道はゆこう。」

「優生保護法問題の早期全面解決」に向け「除斥期間」廃止の声を巻き起こそう

今次判決は「除斥期間」の問題性を隠しようもなく浮かび上がらせた点で、ある意味で画期的意義を持つものとなった。

(1)まず、強制不妊手術など重大な人権侵害を理由とする国賠請求に「除斥期間」が介在する余地があることに

「正義・公平の理念」、「除斥期間」適用制限、国賠命令
—22年2月大阪高裁判決以降の司法判断を全否定(下)

木々 繁

安定的な立場から保護され、場合によっては加害責任を免れる。権利を失う「除斥期間」の機械的適用を改めてとめる。また、ことが困難な、あるいは不可能な具体的事情を顧みることなく、一定期間内に権利行使しなかつた故をもって被害者の救済範囲をあまりにも狭めてしまうとの法曹界の反省を反映したものである。

民法は第2条(解釈の基準)で、「この法律は個人の尊厳...を旨として解釈しなればならない」と定められている。国賠請求に民法を適用するのなら、この精神に常に立ち返る必要があるが、それは今次仙台高裁判決にはみじんも存在しなかった。

22年2月の大阪高裁判決以降の一連の判決の流れと、それに真向から敵対した今次反動判決について、徹底的に総括を深め、そのことを通して、「除斥期間」の問題性と、その解決、国賠法と民法との関係の実践的視点から法律論的整理を行

うことが求められているのではないか。

(2)さらに、除斥期間はもともと国民諸個人の相互間の権利関係を規定したものである。これを国家権力が国民に対して加えた甚大な人権侵害の事件に適用して、権利を行使する間「の機械的適用を改めてとめる。また、ことが困難な、あるいは不可能な具体的事情を顧みることなく、一定期間内に権利行使しなかつた故をもって被害者の救済範囲をあまりにも狭めてしまうとの法曹界の反省を反映したものである。」

民法は第2条(解釈の基準)で、「この法律は個人の尊厳...を旨として解釈しなればならない」と定められている。国賠請求に民法を適用するのなら、この精神に常に立ち返る必要があるが、それは今次仙台高裁判決にはみじんも存在しなかった。

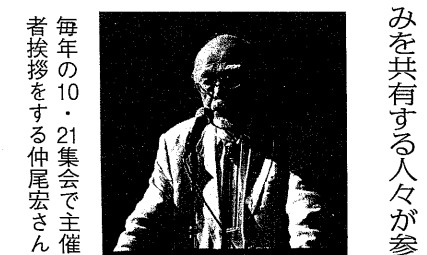
22年2月の大阪高裁判決以降の一連の判決の流れと、それに真向から敵対した今次反動判決について、徹底的に総括を深め、そのことを通して、「除斥期間」の問題性と、その解決、国賠法と民法との関係の実践的視点から法律論的整理を行

7月16日、京都市内で仲尾宏さんを偲ぶ会がもたれた。主催は「反戦・反貧困・反差別共同行動in京都」呼びかけの実行委員会。短期間の準備にもかかわらず80人近くが結集して仲尾さんを偲んだ。

多彩な交友、真摯な連帯

京都の「反戦・反貧困・反差別共同行動」は2007年に結成されて以来、全国に際立った運動を、毎年10・21国際反戦デーに、時の焦点となる政治的社会的テーマを掲げて闘ってきた。仲尾さんは、結成以来今年1月にたおれるまで、この運動の代表世話人として牽引してきた。偲ぶ会はそのことを偲び、顕彰する人が参加した。

彼は、1959年にスターリニズムからの決別をかけた、共産主義者同盟に結集し、同志社大学アント細胞を組織した。それ以来の革命的左翼としての歩みと共有する人々が参加した。



毎年の10・21集会で主催者挨拶をする仲尾宏さん

「安保関連」3文書の軍事大国化・大増税反対、沖縄の軍事基地化、老朽原発再稼働反対を掲げておもに大阪で闘う先頭にも仲尾さんの姿があった。最初の代表であった小川登さんが亡くなって以降は、文字通り集会や学習会を主導してもらった。

また、「世直し研究会」という学習会運動で、専門の朝鮮通信使の歴史の講演をしてもらった。江戸時代には幕府と朝鮮王朝が対等の関係で、朝鮮から通信使が来るたびに、幕府や大名・武士のみならず、学者・画家から庶民に至るまで交歓・交流しあった事実がある。明治以降の植民地化の歴史しか知らないわれわれに新しい学びの場となった。

仲尾さんは、80年代の指紋押捺拒否闘争を契機に、在日外国人、とくにコリアンの人権問題に尽力している。それを契機に、この学問研究に向かったことを知った。

尹東柱の詩に託す

「死ぬ日まで空を仰ぎ一点の恥辱なきことを」。この詩は尹東柱の詩の一部である。偲ぶ会では、「反戦・反貧困・反差別共同行動in京都」の発行のパン

加していた。その中で仲尾宏さんを偲ぶ会がもたれた。主催は「反戦・反貧困・反差別共同行動in京都」呼びかけの実行委員会。短期間の準備にもかかわらず80人近くが結集して仲尾さんを偲んだ。

後年の仲尾さんがもっとも力を入れた日韓・日朝の友好と交流、在日コリアンをはじめとする在日外国人の人権擁護の運動がある。その運動に心を寄せた

「安保関連」3文書の軍事大国化・大増税反対、沖縄の軍事基地化、老朽原発再稼働反対を掲げておもに大阪で闘う先頭にも仲尾さんの姿があった。最初の代表であった小川登さんが亡くなって以降は、文字通り集会や学習会を主導してもらった。

また、「世直し研究会」という学習会運動で、専門の朝鮮通信使の歴史の講演をしてもらった。江戸時代には幕府と朝鮮王朝が対等の関係で、朝鮮から通信使が来るたびに、幕府や大名・武士のみならず、学者・画家から庶民に至るまで交歓・交流しあった事実がある。明治以降の植民地化の歴史しか知らないわれわれに新しい学びの場となった。

仲尾さんは、80年代の指紋押捺拒否闘争を契機に、在日外国人、とくにコリアンの人権問題に尽力している。それを契機に、この学問研究に向かったことを知った。

尹東柱の詩に託す

「死ぬ日まで空を仰ぎ一点の恥辱なきことを」。この詩は尹東柱の詩の一部である。偲ぶ会では、「反戦・反貧困・反差別共同行動in京都」の発行のパン

仲尾宏さんを偲ぶ
日韓・日朝連帯にかけた生涯

われわれにとつての仲尾さん

われわれにとつての仲尾さんはなによりも、「憲法改悪に反対する市民フォーラム」の代表であった。憲法改悪反対、とくに9条改憲阻止をテーマに、安倍政権以降の改憲、in京都」の発行のパン

展望 -The Perspective- 第29号

- * 先制攻撃、大軍拡・大増税の岸田政権
- * 再建協の世界認識のために
- * 新たな沖縄戦情勢 沖縄日誌
- * 岸田政権の原発再稼働
- * 関生弾圧粉砕し労働運動の再生を
- * ジェンダーの視点から 安倍政治を斬る
- * 22年「障害者」解放運動の総括
- * 優生思想との闘い
- * 投稿 ミャンマー人民の闘いに連帯を

第30号 9月発行予定

(革命的共産主義者同盟再建協議会 理論機関誌)

2023年3月 定価(本体1000円+税) Amazonでも購入可 / 「展望29号」で検索

(6面からの続き) 店

は「新たな戦前」を生ねづまじし「批判日

本現代史」日本評論新

社

「参考文献」

山本秋「昭和米よこせ運動の記録」白石書

フレットや集会で仲尾さんが繰り返して引用し、水の海洋投棄など諸攻撃と闘い、仲尾さんの遺志を引き継ぐ決意である。尹東柱は韓国(朝鮮)の国民的詩人である。今年、関東大震災で当時27歳、禁じられていたハンゲルで詩を書き、治安維持法で逮捕され、1945年敗戦の半年前に福岡刑務所で獄死した。その短い生涯と詩作自体がどれだけ強く仲尾さんの胸を打ったであろう。何よりも岸田政権の大軍拡と大増税、沖縄の全島軍事基地化、入管体制の大改悪、原発

批判 日本現代史

ねづまじし

日本現代史

白石書

多くの読者は猪俣津南雄という名を初めて耳にするのではないだろうか。かく言う私も、この本を読むまでは、一知半解の誤った認識に陥っていたことを白状する。

著者の龍井さんは革マル支配下の早稲田大学文学部を中退し、東京経済大学を卒業して総評(日本労働組合総評議会)の書記になった。そして「労働戦線の統一」の名による総評・県評・地区労働評に反対していた私に、陰から協力してくれた。龍井さんは猪俣の「運動論」組織論が、われわれがその一端を担ってきた全共闘運動のスタイルに通じることに、驚嘆と同時に親近感を感じた」と言う。猪俣はかつて共産党

系の学者と非共産党系のマルクス主義者が繰り広げた「日本資本主義論争」の片方である。彼らの終生の弟子であり同志であったのは、戦後の一時期に総評の事務局長として鳴らした高野実である。

猪俣は階級意識は「闘争のうちからのみ」生まれるものであり、マルクスの階級闘争の理論も知らない労働者たちの、空疎と重圧から逃れようとする本能的努力から「にじみ出る」と強調する。階級意識の「外部注入」としての落差は歴然としていて、彼の革命論は、階級闘争↓政治権力奪取↓プロレタリア独裁というお馴染みの図式とは、大きくかけ離れている。猪俣は無産政党や労働組合の運動強化に向けて積極的に関与し続けてきた。そのなかで提起されたのが「横断左翼論」といわれる独自の運動組織論であった。それは戦後の地区労に発展する考え

忘れられた共産主義者の発想に学ぶ

龍井葉二 著

『猪俣津南雄 戦略的思考の復権』

猪俣は階級意識は「闘争のうちからのみ」生まれるものであり、マルクスの階級闘争の理論も知らない労働者たちの、空疎と重圧から逃れようとする本能的努力から「にじみ出る」と強調する。階級意識の「外部注入」としての落差は歴然としていて、彼の革命論は、階級闘争↓政治権力奪取↓プロレタリア独裁というお馴染みの図式とは、大きくかけ離れている。猪俣は無産政党や労働組合の運動強化に向けて積極的に関与し続けてきた。そのなかで提起されたのが「横断左翼論」といわれる独自の運動組織論であった。それは戦後の地区労に発展する考え



均や堺利彦・荒畑寒村と共に「労働派の4巨頭」など自の運動組織論であった。それは戦後の地区労に発展する考え

夏期カンパへのご協力ありがとうございました

残暑お見舞い申し上げます。夏期カンパのご協力を訴えたところ、各方面から多額のカンパが寄せられました。本当にありがとうございます。

革命的共産主義者同盟再建協議会

メーサーロシュ。この体験がベースになって、メーサーロシュ(名前は日本と同じ順序で表記)の作品「ダペストで生まれ、彫刻家であった。一家はソ連(当時)のキルギスに移住している。この時、共産主義者だった父は逮捕され、投獄された(のちに獄死)。母も早くして亡くなり、彼女は児童養護施設にあずけられる。こ

『アダプション』 ある母と娘の記録

監督・メーサーロシュ・マルルタ 1975年



倫「関係にあるのだ。カタは子どもがほしい。この現実を冷静なリアリズムをもって描いている。メーサーロシュは、「私は平凡でありふれた物語を語ります。その中で主人公は女性です。私は女性の視点から物事を描いていきます」と語っている。主人公のカタは、43歳の女性。木製品をつくる工場で木埃を吸いながら働いている。カタは夫を亡くし、ひとりで暮らすが、パートナリーがいる。相手は妻からアンナと知り合

『未来』紙第370号掲載の

橋本利昭論文への異論

停戦を求める人々の意をくむべき

僕の基本的立場は「ロシアのウクライナ侵略反対、ウクライナ人民に一方的に武器を置くことを要する」「降伏要求」である。このウクライナ国内の民族対立・階級対立を煽り虐殺をおこなったウクライナ政権にもある」ということである。

今回の橋本さんの意をくむことだ。「ウクライナ人民に一方的に武器を置くことを要求する」のは「降伏要求」であって、停戦論者は一度でもそんなことを言ったことはない。停戦とは双方の軍隊を同時に武器を置くことである。それ以外の問題は、停戦を求めるとは、戦争を終了し曲げて主張しているにはどちらかの国が同時に武器を置くことではない。ロシアのウクライナ侵略反対。プーチン命がけの反戦闘争はただちに撤兵せよ。ただちに戦争を止めるには、プーチンを打倒しに停戦する。ウクライナ民族内にも階級闘争があり、日本のプロレタリアートはウクライナ民族内の労働者と連帯してロシア後革命を準備するべきだ」と言うのが適当で、左派系労組などに広く存在する「停戦要求」派内のプロレタリアート人民がとるべき立場ではないかと思う。

高見元博